

平成24年度当初予算の概要

平成24年度予算が、平成24年第1回町議会定例会で可決され、一般会計など5つの会計が執行されることとなりました。平成24年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

東川町の平成24年度予算は、一般会計が54億700万円で前年度は町長選挙の年であったため政策予算反映後の6月補正後比較2億9,144万円、5.7%増、特別会計総額では5億6,170万5千円で前年度比較1,649万8千円、3.03%増となり、一般会計と特別会計の合計では59億6,870万5千円(前年度比較3億793万8千円、5.44%増)となりました。

- 一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
- 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

■一般会計・特別会計当初予算額

単位:千円

会計区分	本年度	前年度(6月補正後)	伸び率%
一般会計	5,407,000	5,115,560	5.70
国民健康保険	105	207	▲ 49.28
簡易水道事業	39,300	39,900	▲ 1.50
公共下水道事業	192,600	183,200	5.13
国保町立診療所	329,700	321,900	2.42
特別会計(合計)	561,705	545,207	3.03
総合計	5,968,705	5,660,767	5.44

■一般会計における予算の特徴

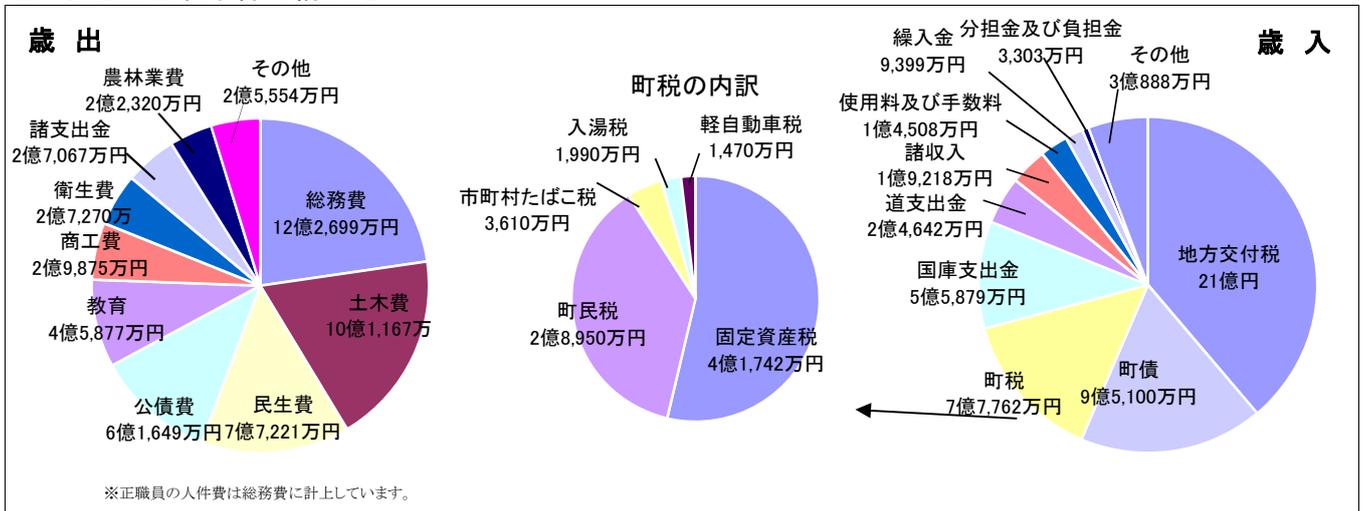
予算編成では、「新まちづくり計画プライムタウン21-1」の5年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることとし、「東川町新行財政改革大綱(自主・自立集中改革プラン)」による事業計画や事業の見直し・効率化を進め、財源確保に努めました。

地方交付税は、地方財政計画では0.1兆円の増額があるなど、0.5%の増となりました。本町における普通交付税の予算額は、平成23年度決定額と比較すると675万円、0.4%の増を見込んでいます。

投資的事業では、対前年比で4億708万6千円、45.6%増となったが、国・道補助金やその他財源の確保・交付税補てんのある起債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

また、ソフト事業では、「写真の町」ひがしかわ株主事業、少子・高齢化、母子保健事業の充実、英語教育の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

■一般会計当初予算の構成比



■平成24年度の主な投資事業

【投資的事業】

- ・地域交流センター整備事業191,700(まちづくり交付金)
- ・グリーンイルージ遊歩道緑化施設事業99,000(まちづくり交付金)
- ・上岐登牛道路改良事業90,000(辺地債事業)
- ・南4条道路新設事業90,000(まちづくり交付金)
- ・定住促進住宅建設事業78,620(地域活性化債事業)
- ・老人保健センター大規模改修事業37,000(集落活性化補助金事業)
- ・体験農園事業20,822(地域活性化債事業)
- ・林業体験施設整備25,450(農山漁村プロジェクト交付金事業)

東川町の財政を家計にたとえると…

平成24年度の町の予算は54億700万円(一般会計)となりましたが、「合計額のケタが大きくて実感がわからない。」「財政用語が分かりにくい。」という声をよく耳にします。

そこで、家庭の家計と町の財政では仕組みが異なりますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家庭収入100万円に置き換えた家計簿で資料を作成してみました。

町の会計は、一般会計、特別会計に分けられていますが、ここでは平成24年度一般会計の当初予算を家計簿に置き換えて説明したいと思います。

東川町の家計簿

(参考)
昨年度数値

収入

給料(町税・地方交付税)	53万円
パート収入(使用料・手数料など)	8万円
親からの仕送り(国からの補助金など)	18万円
借金(町債)	18万円
貯金の解約(繰入金) ※1	2万円
財産(土地や家)の貸付など(財産収入)	1万円
合計	100万円

**家族全員の収入
61万円**

68万円

**家族全員の収入
+ 親からの仕送り
79万円**

86万円

※1 貯金の残高は436万円あります(平成23年度末の貯金残高見込を100万円に置き換えた数字)

支出

食費(人件費)	15万円
家族の医療費(乳幼児医療費などの扶助費)	6万円
光熱水費、被服費、その他雑費(消耗品費・燃料費・通信運搬費など)	31万円
車や家具の修理代(維持補修費)	1万円
子供たちへの仕送り(特別会計への繰出金、広域連合への負担)	10万円
借金の返済(住宅ローンの返済などによる町債費) ※2	11万円
家の増改築(公営住宅建設、道路整備など)	24万円
貸付金(貸付金)	1万円
貯金	1万円
合計	100万円

生活費63万円

75万円

**生活費+借金返済
74万円**

88万円

財産づくり

10万円

親戚などへの支援

1万円

※2 借金の残額は1,297万円あります(平成23年度末の借金残高見込を100万円に置き換えた数字)

収入の柱は給料の53万円とパートの8万円、それと親からの仕送り18万円です。支出は日々の生活費として63万円、住宅ローンの返済などに11万円、家の増改築費に24万円かかっています。

■資料■ 平成23年度末基金(貯金)と町債(借金)残高見込

基金(貯金)

一般会計	百万円	(H22末)
財政調整基金	276	316
減債基金	303	248
公共施設整備基金	718	638
ふるさと創生事業基金	112	112
地域振興基金	35	96
地域福祉基金	329	339
写真の町文化基金	127	127
未来を拓くみんなの夢基金	200	200
総合体育施設建設基金	16	16
「写真の町」ひがしかわ株主基金	30	20
小西健二奨学基金	30	30
住民生活に光をそそぐ基金	10	0
小計	2,186	2,142
土地開発基金	92	147
備荒資金	80	80
一般会計合計	2,358	2,369

特別会計

公共下水、診療所	1	1
----------	---	---

町債(借金)

一般会計	百万円	(H22末)
建物(公営住宅除く)、道路の整備などに借りたもの		
平成23年度末残高見込	3,752	2,508
うち国の交付税で補てんされる金額	▲1,959	▲965
差引残高(町が負担する額)	1,793	1,543
財源不足を補うために借りたもの(臨時財政対策債など)		
平成23年度末残高見込	1,941	1,727
※全額が国の交付税で補てん		
公営住宅の建設のため借りたもの(入居者の負担を基本)		
平成23年度末残高見込	1,321	1,350
特別会計		
簡易水道事業分	466	488
下水道事業分	896	914
診療所分	460	481
うち国の交付税で補てんされる金額	▲839	▲837
差引残高(町と受益者の負担額)	983	1,046